令和８年１０月２０日

保護者の皆様

京都市立稲荷小学校

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果（学校だより臨時号）

４月２３日に本校６年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査では、国語・算数の２教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

＜総合結果（国語・算数）＞

どの教科についても、最後まであきらめずに問題に向かう傾向が見られました。調査教科共に全国・京都府の数値と比較して本校の平均正答率は高い結果となりました。

国語・算数共に文章量や情報量が多い為、内容を読み取り、問われていることをしっかり理解して回答する力が必要な問題でした。

＜国語科より＞

次のような「書く」ことに課題が見られました。

① 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

問題数は１３問あり大問題の中に、それぞれいくつかの小問題で構成されていました。字数や指定された条件に合わせて文章を書く力が必要になります。又、最後の問題に無回答が多かったことから、長文を読み取ったり、文章を記述したりするのに時間がかかったことが推測されます。

＜算数科より＞

次の２つの問題に課題が見られました。

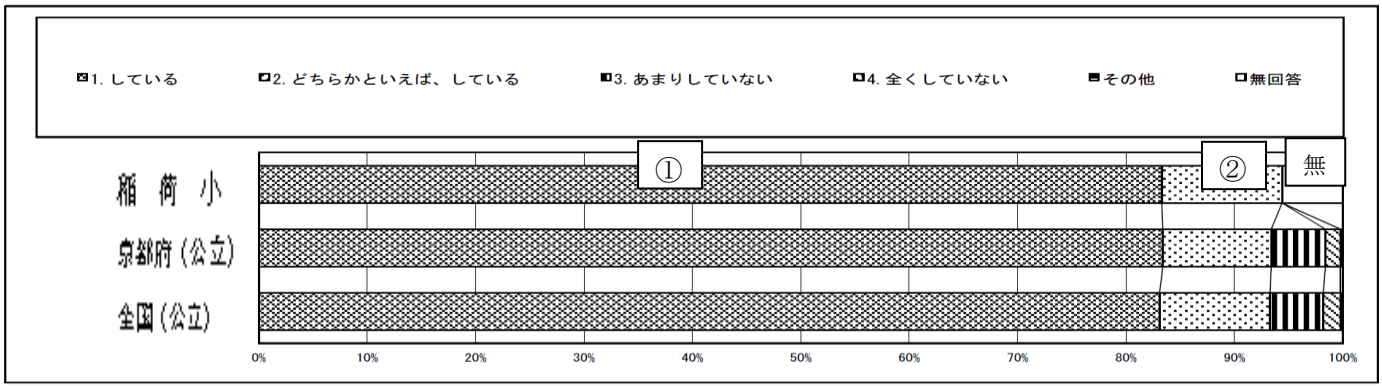
① 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。

② 示された二つの表から集計に誤りのある項目を見つけ、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること。

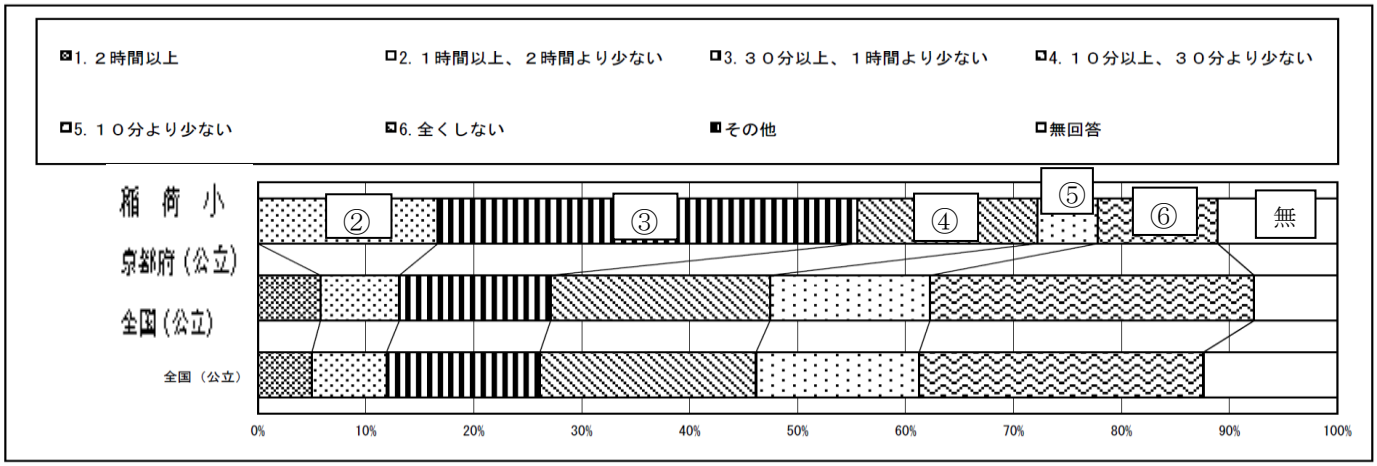
問題数は 16 問あり、大問題の中に、それぞれいくつかの小問題で構成されていました。図表やグラフを見ながら文章を読み、問われていることを理解し、理由や根拠を書く力も必要になってきます。

＜児童質問紙調査から＞

Q　朝食を毎日食べていますか



Q　学校の授業時間以外に普段１日当たりどれくらいの時間読書をしますか



児童質問紙調査から朝ごはんをしっかり食べている児童が多いことが分かりました。他の質問項目から決まった時刻に寝て、起きてる児童も多く、規則正しい生活を送れていることが分かりました。又、普段の生活の中で、３０分以上本を読んでいる児童が多いことも分かりました。

＜全体を通した本校の成果と課題＞

本校では、学校教育目標「いきいき　なかよく　りそうの学校を目指して　考動する子」のもと、保護者や地域の皆様のご協力を得て、教職員一丸となって学力向上に向けた取組を進めているところです。「いなり」をキーワードに、どの子も自分たちを育む地域に愛着をもって学びに向かう姿が見られます。

又、子ども達にとって、毎日の授業が主体的で深い学びの時間となるよう、日々授業改善に努めることはもちろん、学校教育を広い視野でとらえた教育カリキュラムを組み、取り組んでいます。

本校では長年算数科の「ノート検定」に取り組んでおり、子どもたち自身が算数科の授業１時間の流れを見通して、楽しく集中して学習する様子が見られます。成果として授業がよく分かると答える子の割合が多くなっています。子どもたちが得た力を活用して問題に挑み、そして達成感を味わう経験が必要であると考えています。今回課題となった点については、教職員で共有し子ども達が、授業の中で学んだことを活用していく力を身に付けられるよう取り組んでまいります。

＜保護者の皆様へ＞

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

今回の結果から、本校の子どもたちには、多くの問題に出合い、それを解決し活用する経験がより必要であることが明らかになりました。学校といたしましても、これらの課題に向かうべく取り組んでまいりますが、ご家庭のご協力なくしては成し得ません。

日常の生活の中で、言葉にこだわった子どもとの関わりや、視点を変えたものの見方、また小さな良い習慣の積み重ねができるよう心がけていただければ大変ありがたく存じます。